

御池沼沢ニュースレター

令和 4 年 4 月 6 日 Vol.93

今年度もよろしくお願ひします

3月19日（土）の打ち合わせ会にご参加いただきまして、ありがとうございます。

その時、少しお話いたしました、四日市市は、令和3・4年度の2カ年にわたり、御池沼沢植物群落の植生の現況把握のため、植生調査を計画、実施しております。

令和3年度の調査では、湿地全体の植生と、貴重な湿地の植物の分布について専門の調査会社に委託して調査しました。これから数回にわたり、調査結果についてお知らせしていきます。

まず、調査結果の概要です。

今回の調査では、およそ380種の植物が確認され、うち60種程度は過去の調査では確認していない植物でした。ただし、新たに確認された植物は、耕作地や路傍で見られる植物がほとんどなので、湿地内で増えてくる場合は、抜き取るなどの対応が必要になるかもしれません。

東部指定地は、湿地から乾燥した草地に遷移しつつあるという結果でした。西部指定地は、湿地から乾燥した草地に遷移しつつあるかもしれないという結果でした。



このように、両指定地とも乾燥化しつつありますが、保存すべき湿地の植物種は、かわらず生育していることも確認されました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、なかなか、皆さんと御池沼沢植物群落での活動ができませんでした。現在もなかなか感染者が減らない状況ですが、御池沼沢植物群落で植物を楽しみながら、皆さんと活動できたらと思っています。今年度もよろしくお願ひいたします。

4月の活動予定

4月 6日（水）東部ハンノキ・アカメヤナギ伐採

4月16日（土）西部水源林のタケ駆除

4月20日（水）西部水源林のタケ駆除・南北観察路沿いハンノキ伐採と除去

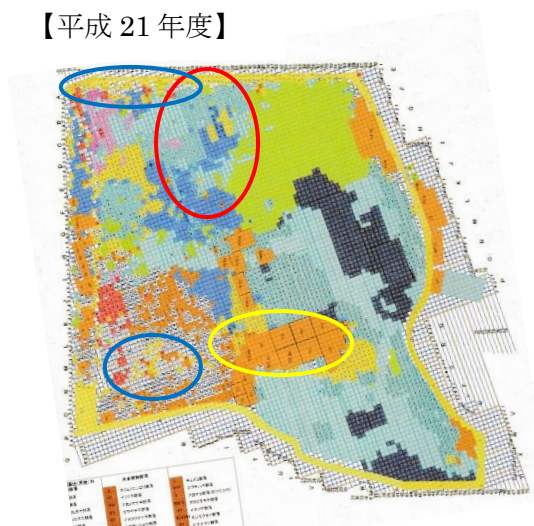
新型コロナウイルス感染状況により、今後の活動予定が変更されることがあります。予めご了承ください。

御池沼沢ニュースレター

令和 4 年 4 月 22 日 Vol.94

令和 3 年度に行いました、植生調査成果の紹介 2 回目です。

【平成 21 年度】



【令和 3 年度】



<色の対応関係>

平成 21 年度

令和 3 年度

水面
(湿地環境)
良



水面
(湿地環境)
良

湿地

草原・荒地

雑木林
悪

前回、東部指定地は、湿地から乾燥した草地に遷移しつつあるという調査結果をご紹介しました。上の図は、左が平成 21 年、右が令和 3 年の植生図です。色分けはだいたい対応しており、■や■は、湿地の植物が比較的良好に残っているところ、■ ■ ■などの色は草原や荒地の植物が多いところです。

両方の図を比べると、赤丸の範囲で、特に■の範囲が少なくなっています。また、青丸のところはセイタカアワダチソウが増えていると指摘されています。黄色丸のところでネザサが増えていると指摘されていることも気になります。また、■の範囲内でも、ヨシ群落が増えている場合もあり、他の植物の生育が抑制されていないか注意していきたいところです。

毎年作業をしている松の木周辺は、皆様のおかげで環境が維持されていますが、その他の部分の環境改善についても考えていきたいです。

5月の活動予定

- 5月 7日(土) 西部指定地 水源林タケ駆除
- 5月 11日(水) 東部指定地 松の木周辺食虫植物保全区域環境整備
- 5月 18日(水) 西部指定地 南端食虫植物保全区域環境整備

新型コロナウイルス感染状況により、今後の活動予定が変更されることがあります。予めご了承ください。

御池沼沢ニュースレター

令和4年5月18日 Vol.95

5月11日に、毎年おこなっております、東部指定地松の木周辺の食虫植物保全区域の除草作業を行いました。作業範囲では、昨年以上にノハナショウブが多くみられ、草刈り機を使っていた方には、ノハナショウブを避けて草を刈っていただく労をおかけしました。ありがとうございます。



ノハナショウブ

皆さんにご協力いただき、秋にノハナショウブの種を採って蒔くことを繰り返してきた効果が出て、ノハナショウブが増えていると思われます。ただし、食虫植物保全区域では、食虫植物のため、地表面まで日が当たるような生育環境となるよう、ノハナショウブを刈ってしまう、あるいは、ノハナショウブを食虫植物保全区域外に移植するなどのことを考えていく必要があります。

東部指定地の食虫植物保全区域には、トウカイコモウセンゴケ・ミミカキグサ・ホザキノミミカキグサの3種類の食虫植物が生育しています。いずれも湿地の植物ですが、トウカイコモウセンゴケは湿地の中でもあまりドロドロしていないところ、ミミカキグサとホザキノミミカキグサはドロドロしているところを好むようです。

多年草で、ほぼ1年中確認できる、トウカイコモウセンゴケについて、御池沼沢植物群落での1年の様子をみてみましょう。

春	夏	秋・冬
4月頃、冬を越した葉が、枯れてしまい、新しい葉が伸びます。	花が咲くころ、葉が一番赤くなります。花が終わる真夏からは、葉がちょっと緑色っぽくなります。 	ちょっと緑色になった葉で、冬も過ごしています。 

トウカイコモウセンゴケは、真冬の御池沼沢植物群落で紹介できるおそらく唯一の植物です。皆さんも1年を通して観察してみてください。

6月の活動予定 午前9時30分から

- 6月 1日(水) 西部指定地 水源林タケ駆除
- 6月 8日(水) 西部指定地 中央観察橋間ヨシ刈り取り
- 6月15日(水) 西部指定地 シラタマホシクサ周辺除草
- 6月25日(土) 東部指定地 ミクリガヤ復活に向けた除草作業

新型コロナウイルス感染状況により、今後の活動予定が変更されることがあります。予めご了承ください。

御池沼沢ニュースレター

令和4年6月16日 Vol.96

令和3年度に行いました植生調査成果の紹介3回目です。

前々回のニュースレターVol.94では、東部指定地全体の環境の変化について簡単に紹介しました。

今回は、平成21年度の調査と比較して、分布が広がっている、あるいは平成21年度には確認していないけれど、今見られる植物を紹介します。

分布が広がった植物：マツカサススキ・トウカイコモウセンゴケ

今見られる植物：ミミカキグサ・コシンジュガヤ



マツカサススキ



トウカイコモウセンゴケ

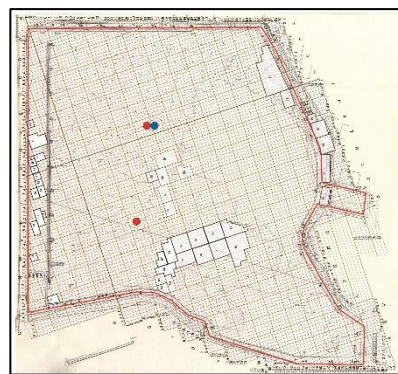


ミミカキグサ

ミミカキグサは、5月に除草作業を行う松の木周りで、今は普通に見ることができます。でも、平成21年の調査では確認しておらず、松の木周りで、草をかき分け数本のホザキノミミカキグサを見つけ喜んでいたり、を思うと、皆さんが行っている作業の効果を改めて実感します。

コシンジュガヤは残念ながら写真がないので、今年見かけたら撮影して紹介します。

それ以外に、西部指定地ではたくさん見かけるヘビノボラスが、松の木から少し東にいったところにあるという調査結果もありました。一度、探してみたいですね。



ヘビノボラス 確認地点

7月の活動予定 午前8時30分から

(暑いので、7月から9月は**開始時間が1時間早まります**)

7月 2日(土) 西部指定地 シラタマホシクサ周辺除草、水源林タケ駆除
(参議院議員選挙準備の都合で、**7月9日から7月2日に変更です。**)

7月20日(水) 東部指定地 ハルリンドウ生育地周辺除草

新型コロナウイルス感染状況により、今後の活動予定が変更されることがあります。予めご了承ください。

御池沼沢ニュースレター

令和4年7月22日 Vol.97

令和3年度に行いました植生調査成果の紹介4回目です。今回は、東部指定地で、残念ながら生育範囲が狭くなった、あるいは、見られなくなっている植物について紹介します。

紹介前に、平成21年度の調査方法と、令和3年度の調査方法の違いについて、確認しておきたいと思います。

平成21年度は、ブラウンブランケ法で調査を行いました。以前、学習会でこの調査方法を体験していただいたことがあります。調査用方形区画内に生育するすべての植物を記録する方法です。御池では全域に区画を設定し、生育するすべての植物を記録しました。



ヒメナミキ

これに対して令和3年度の調査は、たくさん生えている植物（優占種）を調べ、湿地のおよその状態を把握することを目的として行ったため、小さい、目立たない植物や生育範囲の狭い植物などに確認漏れがあります。気づいたところでは、ノテンツキ・ミツバツチグリなどが漏れ落ちていました。

以上のような調査方法の違いを踏まえた上で、生育範囲が狭くなった植物、見られなくなっている植物を整理しました。

生育範囲が狭くなった植物：ヒメナミキ・サワギキョウ

見られなくなった植物：125種（H21の確認種333種）



ノカンゾウ

うち保全種の植物：ノカンゾウ・ニッポンイヌノヒゲ・セイタカハリイ・ハルリンドウ

見られなくなった植物は、あまり花が目立たないものが多いので、詳細に確認すれば、現在も生育しているかもしれません。一方で、カヤツリグサ科の植物のように湿った環境を好む植物が多くみられなくなっていることは、やはり環境が全体として乾燥化しつつあるということを表しているのでしょう。



ハルリンドウ

8月の活動予定 午前8時30分から

（暑いので、7月から9月は**開始時間が1時間早まります**）

8月27日（土）西部指定地 夏の植物の観察

新型コロナウイルス感染状況により、今後の活動予定が変更されることがあります。予めご了承ください。

御池沼沢ニュースレター

令和4年8月10日 Vol.98

残暑お見舞い申し上げます

記録的な猛暑の日々が続いておりますが、みなさまにはお変わりなくお過ごしでしょうか。

御池沼沢植物群落では、様々な植物が開花しています。御池沼沢の近況をお知らせします。

①サギソウの状況

西部指定地の中央の観察橋の間の湿地で、現在、満開です。開花が例年より1週間から10日ほど早かったので、終わりの早いと予想されます。他にも、ミズギボウシ、ムラサキミミカキグサ、サワシロギク、ノカンゾウなども見られます。是非見に来てください。



サギソウ開花状況（部分）

②西部指定地南端の状況

ミミカキグサやホザキノミミカキグサなどミミカキグサの仲間の食虫植物の生育のため、5月に除草を行った範囲で、少しですがサギソウが見られます。サギソウは去年も見かけましたが、今年は、3か所に増え、1か所は観察橋のすぐ真下です。



ミミカキグサ



サギソウ

サギソウなどランの仲間は、生育のためにラン菌という菌と共生しているため、種を蒔いてもラン菌がいないと生育できません。推定ですが、除草している範囲は、元々サギソウがあったところで、環境が合わず生育していなかったけれども、ミミカキグサのための除草が、サギソウの生育環境も整えることになり、復活したものかもしれません。今年は、ミミカキグサが沢山出ていて、見ごたえのある群落になっています。是非見に来てください。

8月の活動予定 午前8時30分から

（暑いので、7月から9月は**開始時間が1時間早まります**）

8月27日（土）西部指定地 夏の植物の観察

新型コロナウイルス感染状況により、今後の活動予定が変更されることがあります。予めご了承ください。

御池沼沢ニュースレター

令和4年8月25日 Vol.99

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

9月17日（土）に桑名市が行う「多度のイヌナシ自生地保全活動」に参加し、保全の在り方などを学ぶ視察研修を予定しております。

多度のイヌナシ自生地について簡単に紹介します。

＜国指定天然記念物 多度のイヌナシ自生地＞

○所在地 桑名市多度町多度字八壺 1740 番地 1 周辺

○指定年月日 平成22年8月5日

○広さ 約 3000 m²

○概要 多度のイヌナシ自生地は、多度峡の南側の丘陵にあるみどりヶ池のほとりにあります。約 3000 m²の中に 46 株のイヌナシの木があります。成木とともに多数の実生（みしょう）が見られ日本最大級の自生地となっており、自然状態での更新が進むと期待され、学術的価値が高いと評価されています。イヌナシは、標準和名ではマメナシといい野生ナシの中でも最も原始的な種類と考えられています。国内では、愛知・岐阜・三重の東海三県にしか自生していません。

○参考資料 桑名市教育委員会文化財 HP 「桑名市の指定文化財」

9月の活動予定 ※訂正があります

多度のイヌナシ自生地保全活動の視察研修に合わせて活動日を以下のように変更します。

（旧）9月10日（土）→（新）9月17日（土）視察研修

9月21日（水）は西部にてセイタカアワダチソウの抜き取りを行います。

活動時間は、8：30～となります。

○視察研修に参加を希望される方は、9月5日までに文化課（松原）まで電話かメールにて、ご連絡ください。

日時：9月17日（土）8：40～12：00頃終了予定（現地解散）

文化課の車に同乗される方は、市役所にて解散となります。

※雨天時は18日（日）に延期となります。

※新型コロナウイルスの動向によっては中止の可能性もあります。

移動手段：ご自身で現地まで行かれるか、文化課の車で一緒に行くのかを教えてください。

※当課の車への同乗を希望の方は、7：40に市役所前集合です。

※直接現地に行かれる方は、多度峡駐車場集合となります。

なお、多度のイヌナシ自生地に向かうまでは、20～30分ほど山を登ることになります。また、足場のぬかるみやヤマビルが発生も考えられます。参加を希望される方は、長袖・長ズボン・長靴の準備、熱中症の対策をお願いします。

御池沼沢ニュースレター

令和 4 年 9 月 8 日 Vol.100

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

活動の際お話したことがあったと思いますが、四日市市では、御池沼沢植物群落の保存活用のための計画策定を進めております。7月に行った会議では、現在御池沼沢植物群落に生育している植物の内、守っていくべき植物について、専門家の先生方にご意見をいただき整理しました。8月27日（土）の活動では、守っていくべき植物のうち、普段注目していないものを観察しました。今回は、観察したものの一部を紹介します。



ヒメシロネ

上から見た時、葉が十字に重なって見えます。



サウヒヨドリ

葉がセイタカアワダチソウに似ていますが、葉脈が目立つ、葉の鋸歯がはっきりしている、茎が赤いことなどで見分けられます。



キセルアザミ

葉がギザギザしています。開花時、花は横ないし下を向きます。開花時期はこれからなので、西部指定地で観察したいですね。



シオデの仲間

色々な葉のものがあります。現在同定中です。目印をつけたいので、見かけたら教えてください。

他の植物も、今後、紹介します。

9月の活動予定

9月17日（土）視察研修（桑名市 多度のイヌナシ自生地）

ご参加いただく方へ。集合時間・場所が変更になります。

午前8時 大矢知町 2323-1 くるべ古代歴史館 駐車場

集合場所をご存じない場合、ご連絡ください。参加受付は 9/5 まででしたが、延長しますので、もし、参加のご希望がありましたらお早目にご連絡ください。

9月21日（水）8：30～ 西部指定地 セイタカアワダチソウの抜き取り

御池沼沢ニュースレター

令和4年9月21日 Vol.101

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

前回のニュースレターに引き続き、守っていくべき植物のうち、普段はあまり注目していないものの紹介です。



左：ツボスミレ

右：アギスミレの葉

アギスミレは、ツボスミレの変種で、葉がブーメラン型になります。

スミレの多くは、葉が根元から出ていますが、ツボスミレは、茎の途中から葉が出ます。



ニッポンイヌノヒゲ

ホシクサ科の植物で、シラタマホシクサの仲間です。葉は、シラタマホシクサと同じようによじれていて、シラタマホシクサより幅が広いです。



ナガボノフレモコウ

以前は花の赤白で「ナガボノアカフレモコウ」「ナガボノシロフレモコウ」と呼び分けられていました。今年は、東部指定地で沢山見られます。



紹介した植物以外にも、8月27日の活動の中でノギラン（右写真）を見つけていただきました。ノギランは、東部指定地のみ分布と思っていたのですが、調べてみると、昭和50年代には西部指定地でも確認されていました。久しぶりの出現です。これからも、いろいろ見つかるといいですね。



ミズギボウシ

小さい紫色のユリのような花が、茎に複数咲きます。

葉は、4月ころから御池沼沢全域で見られます。葉の量ほど花が見られないのは、環境（日当たり？）の問題と思われます。

10月の活動予定 午前9時30分から（開始時間が変わります）

10月8日（土） 西部指定地 抑制植物抜き取り

10月19日（水） 東部指定地 ミクリガヤ復活実験地除草

新型コロナウイルス感染状況により、今後の活動予定が変更されることがあります。予めご了承ください。

御池沼沢ニュースレター

令和4年10月18日 Vol.102

御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護に、平素からご理解、ご協力いただきまして、ありがとうございます。

朝晩の冷え込みが強くなり、植物や木々も徐々に色づき秋を感じられる日が増えてきました。皆様のお住いの付近ではいかがでしょうか。

さて、今号では西部指定地のシラタマホシクサの現状をお伝えします。



①の地点では以前より皆様にアンペライの除草などにご協力いただいたおかげで、今年度も、シラタマホシクサを見ることができました。②の地点でも、シラタマホシクサの群落を見ることができます。



他にも、ヘビノボラズの実が徐々に赤く色づくなど、御池沼沢も秋を感じる様相を見せています。



12月11日(日)に東部指定地にて午前9時～11時30分頃まで冬季除草作業を予定しております。ご協力頂ける方は、文化課までご連絡いただけると幸いです。宜しくお願い致します。

11月の活動予定 午前9時30分から

11月9日(水) 東部指定地 ミクリガヤ復活実験地除草

11月30日(水) 東部指定地 冬季除草準備

御池沼沢ニュースレター

令和4年11月21日 Vol.103

ミクリガヤ発見！

御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護に、平素からご理解、ご協力いただきまして、ありがとうございます。

11月9日（水）の活動で、大発見がありました。除草作業を行ったミクリガヤ復活実験地（下記地図の★印）で、水際に生育しているミクリガヤを見つけました。穂も9本ほど出ていました。

★印の場所は、昭和27年の文化財指定当時は、ミクリガヤが生育していたけれども、その後失われた場所です。ニュースレターvol.29でお知らせしたことがあります。小さい雑木林になっていたため、平成29年12月に樹木の伐根を行いました。伐根後、観察や除草が行き届かず、気になっていたところでしたが、この5年の間に復活していたようです。

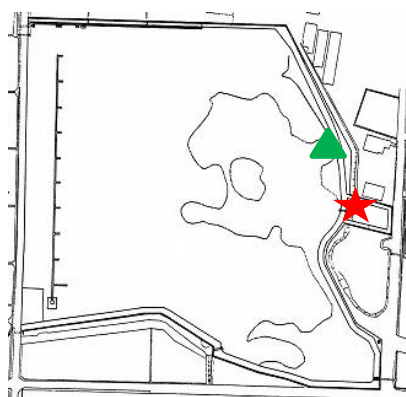
50cm四方程度に生えているだけで、今後も増えるように環境を整えて、大切にしていきたいですね。



ミクリガヤ



ミクリガヤ確認状況
（緑色の植物）



<凡例>

★：11/9の作業場所

▲：今までわかっていたミクリガヤの生育地

12月の活動予定

12月11日（日） 東部指定地 全面除草 午前8時50分から

12月21日（水） 西部指定地 ヤチャナギ周辺除草 午前9時30分から

12月11日（日）は、東部指定地にて、午前8時50分～11時30分頃まで地元の方々と除草作業を予定しております。既に参加のご連絡をいただいた方もいらっしゃいますが、ご協力頂ける方は、直接、電話あるいはメールで文化課までご連絡いただくと幸いです。宜しくお願い致します。

なお、当日お車は、大池中学校の武道場横に駐車していただきますようお願い申し上げます。

御池沼沢ニュースレター

令和4年12月22日 Vol.104

R 4 調 査 速 報

御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護に、平素からご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。

令和4年度は、令和3年度に引き続き、業務委託により植生調査を行っています。調査成果はまだ整理中ですが、一部報告のあったことについて紹介します。

①モウセンゴケの仲間について

御池沼沢植物群落にあるモウセンゴケの仲間は、これまで、東部指定地にトウカイコモウセンゴケ、西部指定地にモウセンゴケとトウカイコモウセンゴケがあると考えてきました。

ところが、今年度の調査で、西部指定地にあるのはトウカイコモウセンゴケではなく、コモウセンゴケであると指摘されました。

トウカイコモウセンゴケとコモウセンゴケの見分け方ですが、腺毛の生える範囲が異なるということで、葉柄の7割まで腺毛が生えているものはコモウセンゴケで、5割までならトウカイコモウセンゴケということです。他にも、葉柄が明瞭でないしゃもじ型ならコモウセンゴケで、葉柄が明瞭なスプーン型ならトウカイコモウセンゴケという見分け方もあるようです。

来年の春以降に、みなさんとじっくり観察したいです。

②東部指定地松の木周辺の植物について

松の木周辺では、トウカイコモウセンゴケやミミカキグサ、ホザキノミミカキグサなどの食虫植物、ノハナショウブなどを保存してきましたが、今年度の調査で、タイワンカモノハシ（絶滅危惧ⅠB類）が少量生育していることがわかりました。タイワンカモノハシは、今までノーマークでしたので（そのため写真がありません）、来年は、花が咲く7月頃、確認していきたいです。

※タイワンカモノハシは、「タイワン」とつきますが在来種です。

それでは、良い年をお迎えください。来年もよろしくお願いします。



西部指定地撮影



東部指定地撮影

1月の活動予定 午前9時30分から

- 1月7日（土） 西部指定地 ヤチャナギ周辺除草
- 1月11日（水） 西部指定地 ヤチャナギ周辺除草
- 1月18日（水） 西部指定地 南端食虫植物保全区域除草

御池沼沢ニュースレター

令和5年1月4日

Vol.105

あけましておめでとうございます

本年もよろしくお願いいたします。

四日市市では、現在、御池沼沢植物群落の保存と活用のための計画の策定作業を進めています。みなさんで行っている日常の保全作業についても、整理をしています。



＜今年4月以降に実施した作業＞

目的	作業時期・対象植物など	
	東部指定地	西部指定地
芽生え環境の整備	11月 ハナシロギク・ミカドツグクサ・マツカサキ・ミリガヤの播種 12月 全面除草	(予定) 2月 全面除草
抑制植物の駆除	6月 ハシバ 7月 セイタカアワダチソウ	4～6月 刈 6月 刈 9・10月 セイタカアワダチソウなど
保全種の生育環境整備	5月 食虫植物 7月 シロタネツグサ	5月 ミカドツグサなど 12月 ヤナギ

上の表の作業は、ここ数年固定的に行っているものですが、特に保全種の生育環境整備の作業は、目に見えて効果が出るので、やっても楽しく、続けていきたいことです。一方、最近行わなくなった作業があったり、もっとやりたい場所があったりすることに改めて気づきました。

また、気温により植物の発芽時期や生育状況が変わり、作業時期の設定に失敗した（早すぎた）と思った作業や、作業方法を検討したい作業もあります。

4月以降の作業計画を立てる時には、いろいろ試行錯誤し、みなさんのご意見も取り入れながら決めていきたいです。

今年も、御池沼沢の植物を楽しみながら、みなさんと、保全作業を行っていきたくております。お力添えをお願いいたします。



1月の活動予定 午前9時30分から

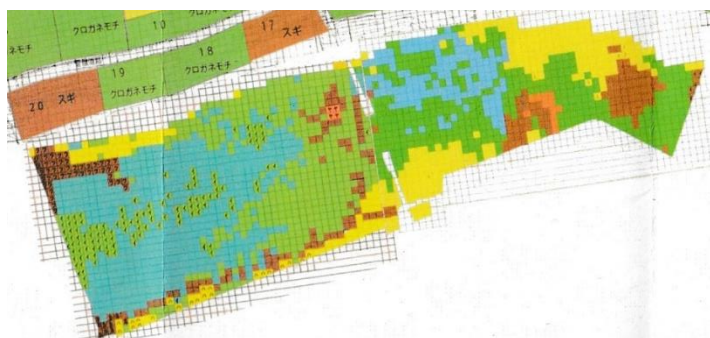
- 1月 7日(土) 西部指定地 ヤチヤナギ周辺除草
- 1月 11日(水) 西部指定地 ヤチヤナギ周辺除草
- 1月 18日(水) 西部指定地 南端食虫植物保全区域除草

御池沼沢ニュースレター

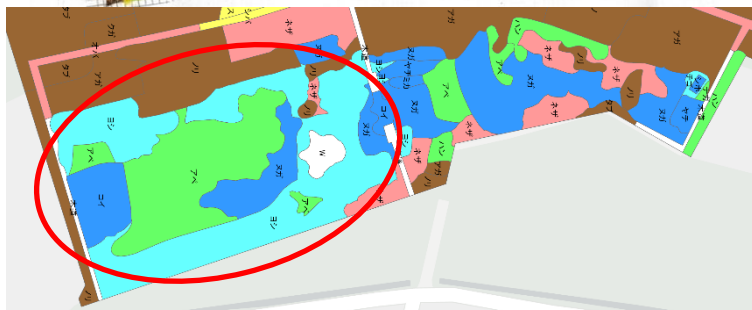
令和5年1月18日 Vol.106

しばらく間が空いてしまいましたが、令和3年度に行いました植生調査成果の紹介5回目です。

前回までは、東部指定地の調査成果についてご紹介しましたが、今回は西部指定地の状況です。



【平成20年度】

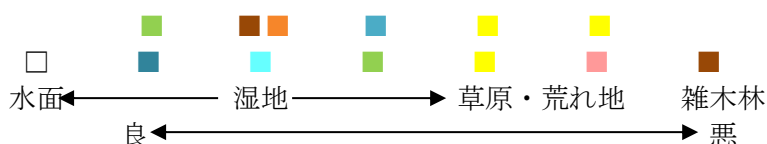


【令和3年度】

<色の対応関係>

平成20年度

令和3年度



※平成20年度の水源林の色分けは、上記と別になっています。

上の図は、色の対応関係がない（東部指定地の調査結果とは対応している）ので比較しにくいですが、西部指定地は、湿地から乾燥した草地に移行しつつある可能性があるという指摘を受けています。また、赤丸の範囲で、ヨシが増え、アンペライ・ヌマガヤが減っていることが指摘されました。

2月の活動予定

- | | | | |
|----------|-------|-----------|-----------|
| 2月 5日（日） | 西部指定地 | 全面除草 | 午前8時50分から |
| 2月 8日（水） | 西部指定地 | ヤチヤナギ周辺除草 | 午前9時30分から |
| 2月15日（水） | 西部指定地 | ヤチヤナギ周辺除草 | 午前9時30分から |

2月5日（日）は、西部指定地で、午前8時50分から地元の方々と除草作業を予定しております、ご協力いただける方は、直接、電話あるいはメールでご連絡ください。また、この日は、お車は大池中学校武道場横に駐車してください。

よろしくお願いいたします。

御池沼沢ニュースレター

令和5年2月6日 Vol.107

前回のニュースレターでは、西部指定地全体の環境の変化について、簡単に紹介しました。

今回は、平成20年度の調査と比較して、分布が広がっている、あるいは平成20年度には確認していないけれど、今は見られる植物について紹介いたします。

＜分布が広がっている植物＞

カキラン・シラタマホシクサ・ホザキノミミカキグサ



カキラン



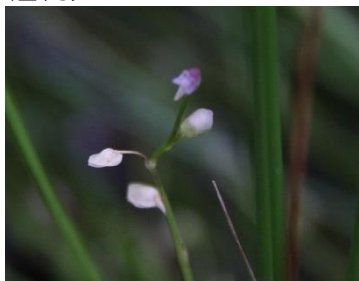
シラタマホシクサ



ホザキノミミカキグサ

＜今は見られる植物＞

ムラサキミミカキグサ・コモウセンゴケ（これまでトウカイコモウセンゴケとしていた植物）



ムラサキミミカキグサ



コモウセンゴケ

上に挙げた植物をみると、シラタマホシクサやホザキノミミカキグサ、ムラサキミミカキグサなど、これまでボランティア活動で保護増殖のターゲットとしてきた植物が、作業場所で増えている、あるいは復活しているようです。元々環境が植物に適していて、埋土種子がある場所で作業を行ったので、保護増殖の効果が出たものと思われます。

3月の活動予定 午前9時30分から

3月 1日（水） 東部指定地 ヘビノボラズ探しとアカメヤナギ伐採

3月18日（土） 打ち合わせ会（場所はあらためてお知らせします。）

3月の活動日についてのお詫び

配布済みの予定表では、3月11日（土）を活動日としておりましたが、全市事業開催の都合により、申し訳ございませんが、次週の3月18日（土）に変更いたします。ご理解のほどお願い申し上げます。

御池沼沢ニュースレター

令和5年2月21日 Vol.108

前回のニュースレターでは、西部指定地全体の環境の変化について、簡単に紹介しました。

今回は、平成20年度の調査と比較して、分布が狭まっている、あるいは、みられなくなった植物について紹介いたします。

＜分布が狭まっている植物＞

アンペライ・ナガボノワレモコウ・オオミズゴケ・サワギキョウ・ヤチヤナギ・ミカツキグサ・コムラサキ



アンペライ



ナガボノワレモコウ



オオミズゴケ



サワギキョウ



ヤチヤナギ



ミカツキグサ



コムラサキ(実)

＜見られなくなった植物＞

アギナシ・セイタカハリイ (どちらも写真はありません)

ヤチヤナギは、中央観察橋北側の群落は広がっていますが、他の群落では減っている、あるいは確認できなくなっています。ヤチヤナギが減っている場所の環境は、ヤチヤナギの生育地としては水が少ない状態になっていると思われるので、水が今よりも多く流れるようにしていく必要があると考えています。

3月の活動予定 午前9時30分から

3月 1日(水) 東部指定地 ハンノキ伐採(活動内容を変更します)

3月18日(土) 打ち合わせ会(神前地区市民センター 会議室)

会場が今までと異なりますので、ご注意ください。

3月の活動日についてのお詫び

前号でもお知らせしておりますが、配布済みの予定表では、3月11日(土)を活動日としておりましたが、全市事業開催の都合により、申し訳ございませんが、次週の3月18日(土)に変更いたします。ご理解のほどお願い申し上げます。

御池沼沢ニュースレター

令和5年3月30日 Vol.109

1年間ありがとうございました

令和4年度も現場作業にご参加いただきありがとうございました。この1年の主な活動を振り返ってみました。



西部 タケ対策(5/7)



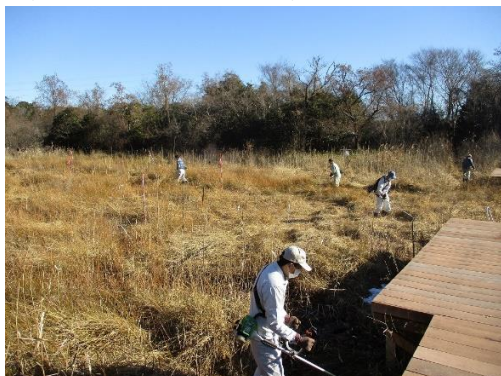
西部 観察橋間ヨシ刈り取り(6/8)



東部 ミクリガヤ保全作業(7/20)



西部 セイヨウアザミの抜き取り(9/21)



西部 冬季除草(2/5)



西部 ヤチヤナギ周辺除草(2/15)

来年度もよろしくお願いします。

4月の活動予定 午前9時30分から

4月 5日(水) 西部指定地 タケノコ・タケ対策

4月15日(土) 西部指定地 谷内坊主学習会

4月19日(水) 東部指定地 ハンノキ・アカメヤナギ伐採

四日市市シティ・モーション部 文化課 Tel.059-354-8238 bunka@city.yokkaichi.mie.jp